

GRAND CYCLE TOKYO 実行委員会（第22回）

議事要旨

日時：令和7年11月27日（木） 11時～11時30分

場所：都庁第一本庁舎 15階 15F 会議室及びオンライン

1. 開会

2. 審議事項

（1）Bike New York とのパートナーシップ協定締結について

- GRAND CYCLE TOKYO（以下、「GCT」という。）事業の海外発信力強化に向け、世界最大級のファンライドイベントである Bike New York（以下、「BNY」という。）とパートナーシップ協定を締結する。
- 環境負荷低減や健康増進に寄与する自転車利用の環境づくりを目的として、レインボーライドと連携した相互PRや、海外参加者のエントリー等を推進していく予定である。
- また、今後は11月末に協定を締結し、12月7日のレインボーライドにおいて協定締結のPRを予定している。

【委員からの質問】

（質問1）

具体的な取組のイメージについて教えていただきたい。

（事務局回答）

両大会における相互PRや成功事例・効果的なプロモーションの共有、観光の要素を組み合わせた取組等を推進していきたい。具体的な連携のひとつとして、12月7日のレインボーライドにBNYがブース出展する。今後BNYにおいてもGCTがブース出展を行い、BNYの広報媒体を活用したPRを行いたいと考えている。

（質問2）

日本の自転車競技団体に対するメリットは何か。

（事務局回答）

BNYはレインボーライドと同様にファンライドであるが、各団体も競技だけでなく裾野拡

大の取組も行っているため、そうした取組の充実や普及に資するものと考えている。

(質問3)

海外の方がレインボーライドに気軽に参加いただくには課題があるのではないか。

(事務局回答)

英語版の申込サイトも用意している。また、海外からの自転車の輸送やレンタルなどの課題があると認識している。宣伝だけでなく、参加しやすい環境を整える必要があるので、引き続き検討していきたい。

【審議事項（1）について全員異議なし】

3. 報告事項

(1) 事業最適化部会の中間まとめについて

- 本年度より「事業最適化部会」を設置し、GCT 事業の課題や、協賛の獲得戦略などを含め、今後の GCT 事業の方向性等を検討している。今回の『中間まとめ』は、3つのポイントに基づき整理されている。
- 1つ目、開催のあり方・都民支持について
 - ロードレースの周回コースの設定や両大会の連携開催の可能性の検討が必要
 - 長距離の交通規制による地元負担について検討が必要
 - ファミリー層から上級者まで、多くの参加者が楽しめる自転車イベントの展開
- 2つ目、収入増・新たな価値創造について
 - レインボーライドを主体としたブランディングの推進
 - BNY や UCI など海外連携の推進によるブランド価値向上の好循環の可能性
 - スポンサー露出が少なく、一層の工夫が必要
- 3つ目、費用対効果について
 - ロードレースの周回コースの活用等による費用削減の検討が必要
 - 安全対策費については、安全面を第一に考えたうえで引き続き経費を精査
 - 両大会の運営方法・費用の効率化を検討
- THE ROAD RACE TOKYO TAMA 2025 の評価について

UCI から運営・安全面で高評価を得ており、沿道観戦・ネット観戦共に多くの方に見ていただいた。来場者や SNS でも肯定的な評価が多く、ポテンシャルがある一方、住民からの問い合わせや交通規制への苦情があった。

- 以上の内容を踏まえ、多摩ロードレースについては、GCT 事業全体として考える必要があることから、レインボーライドの視察結果等も踏まえ、引き続き検討する。

【委員からの質問】

(質問)

例えば大島で行われている大会のように、交通規制が比較的容易な場所を実施することが考えられるが、どのような議論があったか。

(事務局回答)

THE ROAD RACE TOKYO のコースは、住民が多いエリアを含むことから、周回コース活用の検討など、様々な議論を行ってきた。

(他委員からの意見)

島に関しては宿泊のキャパシティの問題、天候による船の欠航もあるので難しいのではないかと。大島では以前、アジア選手権大会等が実施された実績はあるが、かなりのリスクを背負うことになる。

【委員からの意見】

- ・現状、GCT の名のもとに両大会があるが、ブランディングが分かりにくい。両大会の性質の違いを踏まえた検討が必要。
- ・ブランディング戦略は重要であるため、見直しの中で視点として入れていただきたい。

4. その他

(1) 今後の実行委員会のスケジュールについて (予定)

①令和 8 年 1 月下旬

レインボーライド・マルチスポーツ開催報告

②令和 8 年 2 月

事業最適化部会の最終まとめ

③令和 8 年 3 月下旬

実行委員会会則等の改定、R 8 事業計画、予算計画、共催協定

【委員からの意見・質問 なし】

5. 閉会